

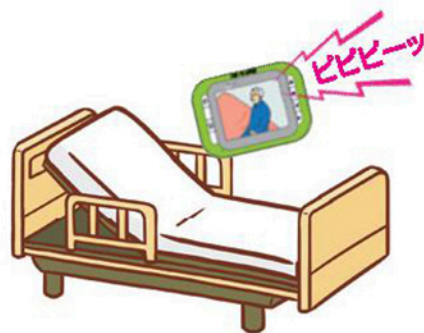
やすらぎの村便り

福祉用具の目覚ましい進化について

近年の高齢者の介護保険における福祉用具の進化は目覚ましいものがあります。その中でも特に注目されるのは車椅子や電動ベッド、徘徊感知器などの技術の進歩です。

まず、車椅子は高齢者の移動をサポートするための重要な福祉用具です。近年では、軽量かつ様々な機能がついた車椅子が開発され、持ち運びや収納が簡単になりました。また、電動式の車椅子も登場し、高齢者自身での操作が容易になりました。バッテリー駆動の電動車いすは、使用者の負担軽減だけでなく、長距離の移動も可能にしています。車椅子利用者の自立や外出の機会が増え、社会参加が促進されています。次に、電動ベッドの進化も大きな進歩です。

従来のベッドでは、高齢者の起き上がりや立ち上がりが困難でしたが、電動ベッドではボタンひとつで頭が上がり起き上がりの補助や安全な食事の姿勢、立ち座り時の体への負担を軽減する事が可能です。中にはボタンひとつで、寝る姿勢から立ち上がる姿勢までサポートしてくれるものもあります。これにより、ご自身の生活の質が向上し、介助する方の負担が大きく軽減されることになりました。さらに、徘徊感知器も高齢者の安全を守るための重要な福祉用具です。認知症の方が記憶力や判断力、認識力が低下し迷子になるリスクを軽減



するために開発された「GPS型徘徊感知器」が役に立ちます。GPS型徘徊感知器を持つ事にスマートフォンやパソコンから家族や介護者がいつでもその位置を知ることが出来ます。家族の安心や迷子の防止、いつでも見守れる環境を作ることでご本人の自立支援につながります。

このような福祉用具の進化により、高齢者の生活の質が向上し、自立した生活が可能になっていきます。介護保険を利用する高齢者や、将来自分自身が高齢になった場合にも、これらの進化した福祉用具を利用することで、より快適な生活を送ることができるよう。

キタバ薬局ではいつでも福祉用具や自助具等の展示をしております。いつでもお気軽にお越しください。

やすらぎの村

福祉用具レンタル・販売事業部

池上 直晴